

学校説明会公開用資料

入学者選抜における 特色選抜について

茨城県立 I T 未来高等学校

特色選抜について

次の点を説明いたします。

- ① 「出願要件」について
- ② 募集人員、選抜資料・配点
合否判定の流れ
志願するにあたっての諸注意 について
- ③ プレゼンテーションの実施方法について

特色選抜について

① 「出願要件」 について

特色選抜について



【出願要件】 次の要件を満たす者

中学校時代に、探究活動に取り組んだ経験、又はＩＴ関係のコンテスト（※１）に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後もＩＴ関係の探究活動又はコンテスト（※２）に積極的に挑戦する意志のある者。

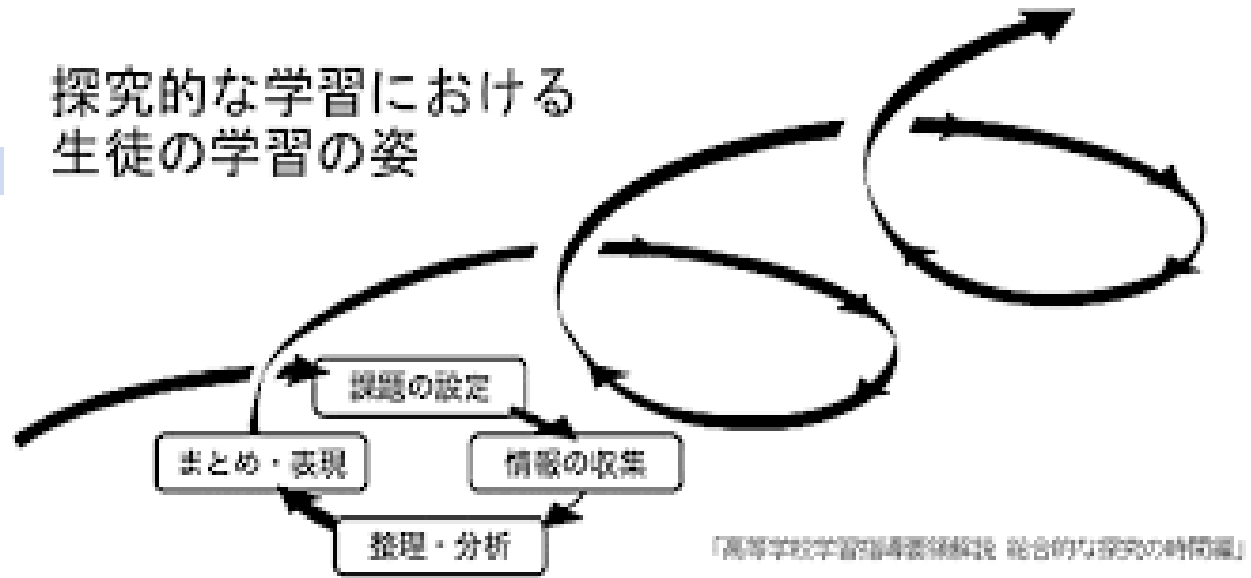
特色選抜について

探究的な学習における
生徒の学習の姿

● 「探究活動」とは？

⇒ 下記の問題解決的な活動が繰り返される一連の学習活動のこと。

- ① 課題の設定（自ら設定をする）
- ② 解決に向けて情報の収集
- ③ 整理・分析（他者と意見交換や協働作業）
- ④ まとめ・表現



特色選抜について



【出願要件】 次の要件を満たす者

中学校時代に、探究活動に取り組んだ経験、又は I T 関係のコンテスト(※1)に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後も I T 関係の探究活動又はコンテスト(※2)に積極的に挑戦する意志のある者。

**※1 U-22プログラミング・コンテスト、全国小中学生プログラミング大会、中高生国際Rubyプログラミングコンテスト等の各種プログラミングコンテスト、全国小・中学生作品コンクール（パソコン部門）、アプリ甲子園など。
ただし、タイピングのようなスキルを測るものは除く。**

特色選抜について



【出願要件】 次の要件を満たす者

中学校時代に、探究活動に取り組んだ経験、又はＩＴ関係のコンテスト（※１）に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後もＩＴ関係の探究活動又はコンテスト（※２）に積極的に挑戦する意志のある者。

※２ 日本情報オリンピック、パソコン甲子園、中高生情報学研究コンテスト、日本学生科学賞、U-22プログラミング・コンテスト、日本ゲーム大賞U18部門、IBARAKIドリーム・パス事業など。

特色選抜について

② 募集人員、選抜資料・配点

合否判定の流れ

志願するにあたっての
諸注意

について

特色選抜について



【特色選抜での募集人員】

40人以内（定員の50%以内）

午前の部：20人以内

午後の部：20人以内

特色選抜について



【選抜資料及び配点】

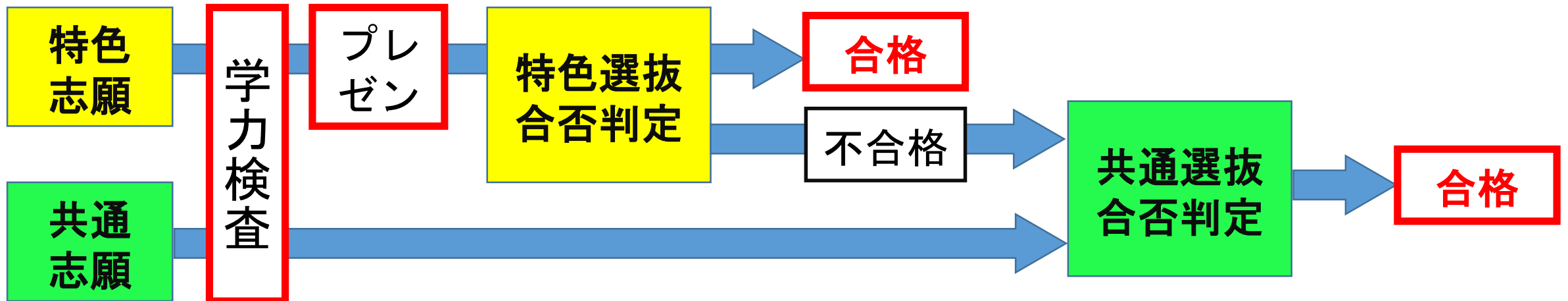
・ 学力検査	700点
	(数学・理科は2倍)
・ 調査書	200点
・ プレゼンテーション	200点
合計	<hr/> 1,100点

特色選抜について

【合否判定の流れ】



- ① 特色選抜の合否を判定。
- ② 合格しなかった受検者は、共通選抜のみに志願した受検者とあわせて、共通選抜により合否判定。



特色選抜について



【志願するにあたっての諸注意】

- ① 特色選抜としての選抜は、**第1志望とした「午前の部」「午後の部」のいずれか**です。
- ② “特色選抜”で合格と判定されなかった場合は共通選抜にまわり、共通選抜のみに志願した受験者とともに合否を判定します。

特色選抜について

＜例 1＞「午後の部」を“特色選抜”で出願する場合 入学願書への記入方法

- ・ 上段に「I T」、下段に「午前」または「午後」と記入
- ・ 第 2 志望がない場合は、枠を斜線で引く。

様式第 1 号の 1（表面）

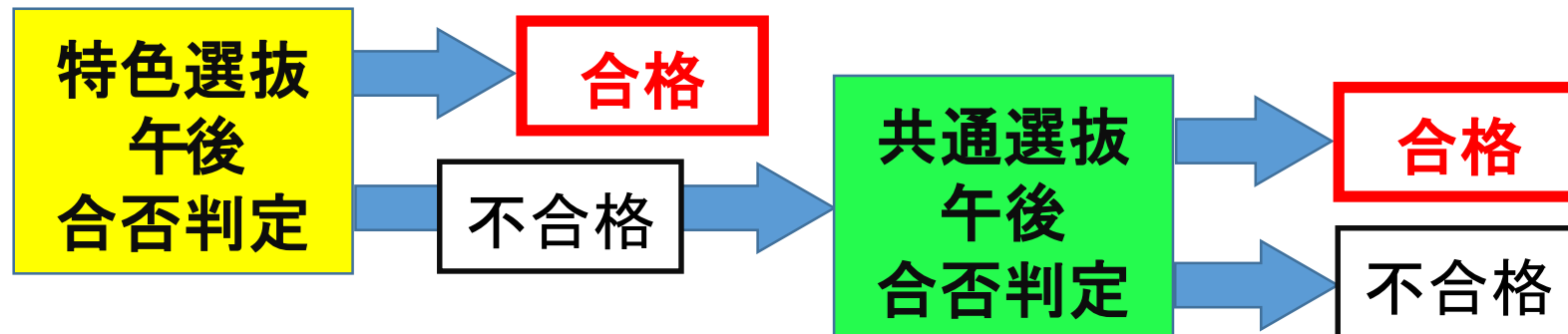
共通選抜				特色選抜		帰国子女		外国人		成人	
令和 5 年 度 入 学 願 書						受験番号		※			
志 望 課 程	全 日 制	志 望 学 科	第 1	I T 午 後 科							
	定 時 制		第 2	科							
志	ふ り が な 氏 名 (生 年 月 日)	〇〇〇〇 〇〇〇〇									
		□ □ □ □		(昭和 平成 △△年 △△月 △△日生)							

特色選抜について

〈例 1〉「午後の部」を“特色選抜”で出願する場合

①特色選抜（午後） ⇒ ②共通選抜（午後）
の順番に合否を判定

※ “特色選抜”で合格にならなかった場合は、
共通選抜に回って合否を判定。



特色選抜について

＜例 2＞「午前の部」を第 1 志望として“特色選抜”で
出願し、「午後の部」を第 2 志望で出願する場合
入学願書への記入方法

- ・ 第 1 志望、第 2 志望の両枠に記入する。

様式第 1 号の 1（表面）

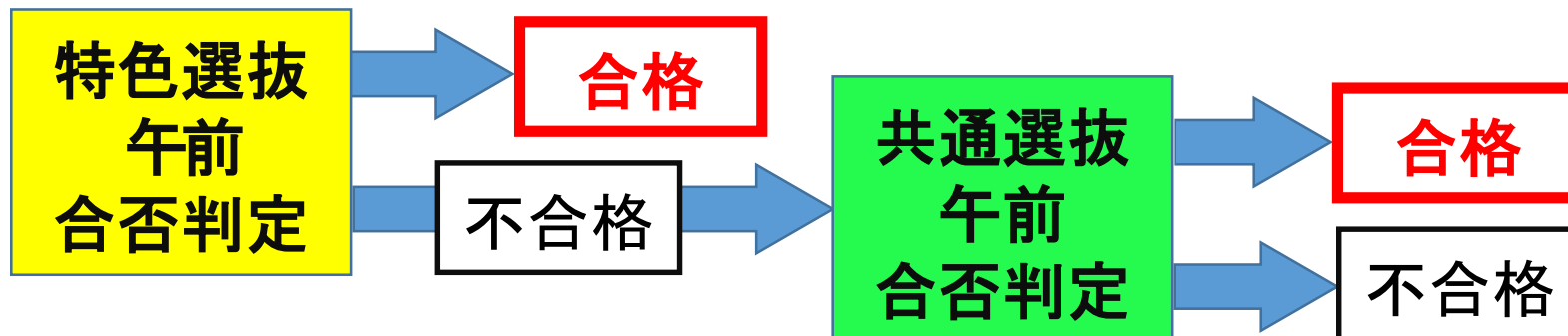
共通選抜					特色選抜		帰国子女		外国人		成人	
令和 5 年度 入 学 願 書								受験番号		※		
志 望 課 程	全 日 制	志 望 学 科	第 1	I 午前				T 午前		科		
	定 時 制		第 2	I 午後				T 午後		科		
志	ふ り が な 氏 名 (生 年 月 日)	○○○○				○○○○						
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>										
		(昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日生)										

特色選抜について

〈例 2〉「午前の部」を第 1 志望として“特色選抜”で
出願し、「午後の部」を第 2 志望で出願する場合

「午後の部」の合格者数が定員（40名）を満たした場合・・・

①特色選抜（午前） ⇒ ②共通選抜（午前）
の順番に合否を判定



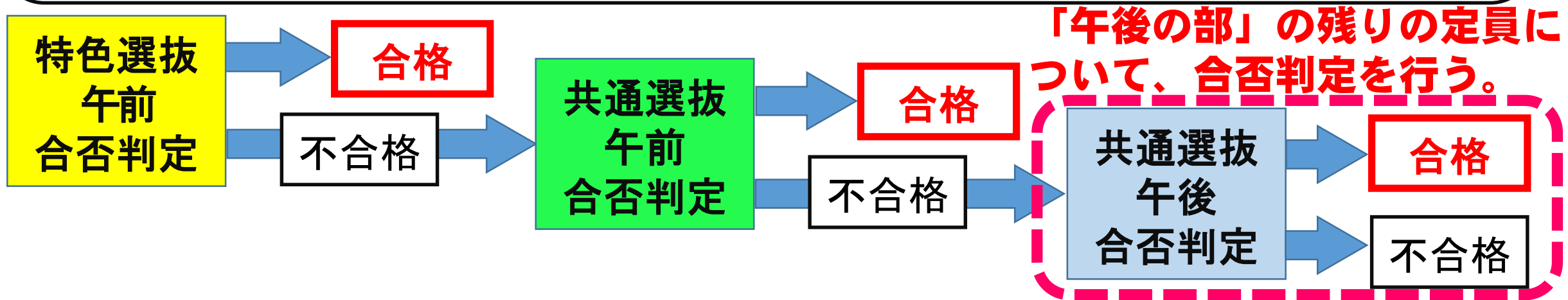
**「午後の部」での
合否の判定は
行わない。**

特色選抜について

〈例 2〉「午前の部」を第 1 志望として“特色選抜”で
出願し、「午後の部」を第 2 志望で出願する場合

「午後の部」の合格者数が定員（40人）を満たさない場合…

①特色選抜（午前） ⇒ ②共通選抜（午前）
⇒ ③共通選抜（午後） の順番に合否を判定



特色選抜について

③ プレゼンテーションの 実施方法 について

特色選抜について



【プレゼンテーション】

● 「探究活動」であればどんな活動でも構いません。

- ・ 学校（総合的な学習の時間、授業など）
- ・ 家庭（個人での探究活動） など

● 「ＩＴ関係のコンテスト（※１）」について、
入賞したかどうかにかかわらず、参加するため
に継続して取り組んだ経験があれば、出願でき
ます。

特色選抜について



【プレゼンテーション】

- ⇒ ・ 個別に実施
- ・ 発表5分、質疑応答5分程度⇒ **1人10分程度**
- 〔活動報告：4分程度
- 〔入学後に挑戦したい活動の説明：1分程度

テーマ

「中学時代に取り組んできた探究活動又はＩＴ関係のコンテストに参加するための活動について、及び入学後挑戦したいＩＴ関係の探究活動またはコンテストについて」

特色選抜について

【プレゼンテーション】

- 「活動報告書」を事前提出資料として提出。
- ※プレゼンテーションを補完するもので点数化はしない。

様式第28号の1 (I T未来高等学校用)		受検番号	※
		活動報告書	
茨城県立I T未来高等学校長 殿		令和	年 月 日
出身校名		ふりがな 志願者氏名	
1 活動区分 (□のいずれかに✓を入れる。)		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> グループ	
2 活動のタイトル			
3 活動内容の概要 (本活動において参加した大会やコンテストがある場合はその名称も書くこと) * グループで行った活動の場合は、自分が担当した部分を明確にすること			
4 自分が行った活動で一番伝えたいこと (工夫した点、試行錯誤した点、難しかった点、苦労した点など)			
5 入学した後に挑戦したい活動 (I T関係の探究活動又はコンテスト) 及びその内容			
6 プレゼンテーション実施に関する調査 (□のいずれかに✓を入れる。) 発表資料 (PDF形式) を入れるUSBメモリの貸与を希望しますか。【学力検査終了後に貸与】 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない ➡ 学力検査終了後の発表資料投影確認を希望しますか。 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない			
注 ※欄以外は、志願者本人が、黒色のペン又は黒鉛筆で直筆のこと。			

特色選抜について



【プレゼンテーション】

●発表資料

- ・ **P D F 形式**にて
- ・ サイズ… **A 4 判横向き**、または
縦：横の比が「3：4」か「9：16」

●当日持参するもの

- ① 発表資料ファイルを保存したUSBメモリ
- ② 発表資料をA4判サイズに印刷した紙 1 部
(モノクロ、カラーは問わない。)

特色選抜について



【プレゼンテーション】

● 自分のUSBメモリを所有していて、学力検査終了後の発表資料投影の確認を希望する場合・・・

6 プレゼンテーション実施に関する調査（□のいずれかに✓を入れる。）
発表資料（PDF形式）を入れるUSBメモリの貸与を希望しますか。〔学力検査終了後に貸与〕

<input type="checkbox"/> 希望する		<input checked="" type="checkbox"/> 希望しない	➡ 学力検査終了後の発表資料投影確認を希望しますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する
				<input type="checkbox"/> 希望しない

ここにチェックを記入

特色選抜について



【プレゼンテーション】

●USBメモリを用意できない場合…

- 6 プレゼンテーション実施に関する調査（□のいずれかに✓を入れる。）
発表資料（PDF形式）を入れるUSBメモリの貸与を希望しますか。〔学力検査終了後に貸与〕
- ☒ 希望する
☐ 希望しない → 学力検査終了後の発表資料投影確認を希望しますか。 ☐ 希望する
☐ 希望しない
- ここにチェックを記入**

活動報告書提出の際、USBメモリ貸与の「希望する」にチェックを入れる。なお、この場合は学検終了後の発表資料投影はできません（USBメモリの貸し出しと重なるため）。

特色選抜について



【プレゼンテーション】

●当日の実施の流れ

① **【待機室】** 順番が来るまで待機。



② **【控室】** 発表資料の投影及び電子黒板の
操作確認



③ **【受検室】** 本校の65型電子黒板にUSBメモリ
を直接接続し、資料を投影して行う。

【学力検査日】 筆記試験終了後

実際に使用するPDFファイルの確認

- 自分で用意したUSBに、本番のプレゼンで使用するPDFファイルを入れて、1日目に持参する。
- 実際に電子黒板にUSBを挿入し、PDFファイルが正しく読み込めるかを自分で確認する。
- スライド切り替えなどの、**操作確認は行わない。**

特色選抜試験当日

待機室

- ・受付後待機室に集合し、受検番号が呼ばれるまで待機する。

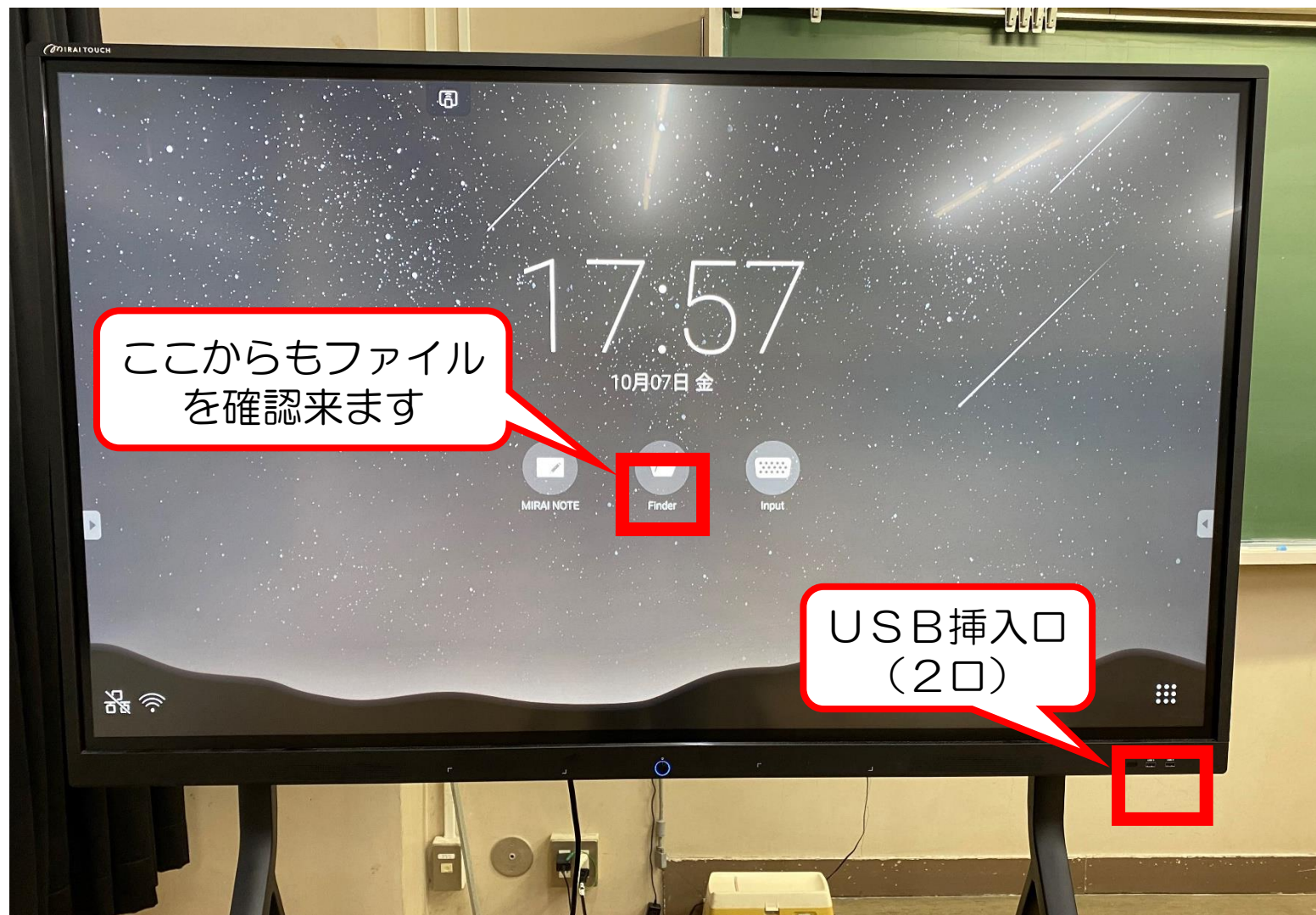
控室

- ・持参したUSBを電子黒板に差し、ファイルの確認をする。
- ・スライドの切り替えなど、実際に操作のテストを行う。

受検室

- ・受検番号が呼ばれたら入室し、発表・質疑応答を行う。
- ・質疑応答終了後、退室

電子黒板（ミライタッチ）について



①USB挿入・読み込み



②PDFファイルを選択



③スライドの再生



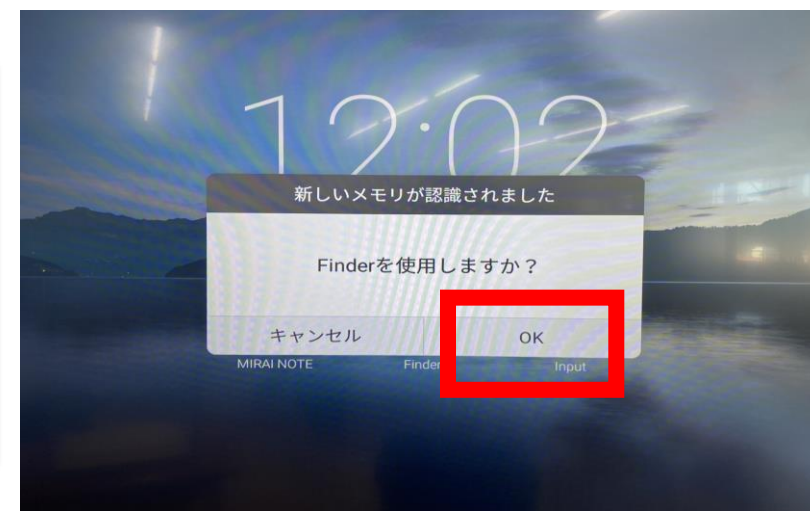
④終了・USBの
取り外し

手順① USBの挿入・読み込み

電子黒板右下にある挿入口にUSBを挿入
(2箇所のうちどちらでもよい)



USB挿入後、表示される「OK」をタップして
左側に表示される「USB 1」を選択



手順② 使用するPDFファイルを選択

左側に表示される「USB 1」を選択し、
プレゼンに使用するPDFファイルを
ダブルタップして開く。



左上の「再生」をタップ後、「最初から」を選択し、プレゼンを開始する。



ダブルタップで
ファイルが開く

手順③ スライドの再生

スライドの再生

- ・左上の「再生」→「最初から」をタップ


スライドの進行・巻き戻し

- ・スライドの進行：「→」or 画面を右スワイプ
- ・スライドの巻き戻し：「←」or画面を左スワイプ

全ページをプレビュー表示

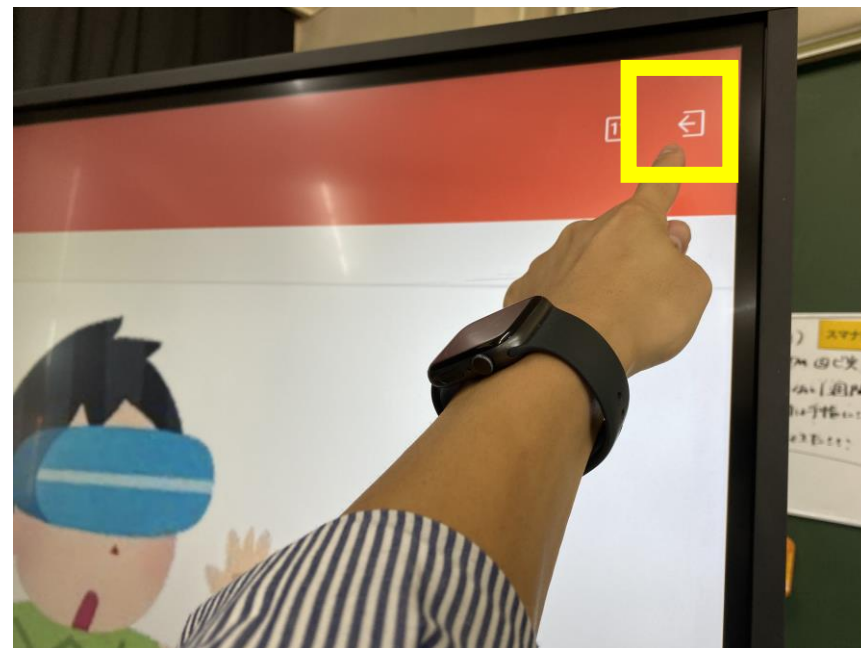
- ・全ページのプレビューを表示：画面中央付近をタップ

手順④ プレゼンの終了・USBの取り外し

プレゼン終了後、右上の  ボタンを
タップした後「X」をタップし、再
生を終了する。



プレゼンテーション終了後、
USBをそのまま外す。



特色選抜について

【プレゼンテーション】

●実施上の注意点

- ① **読み原稿の持込はできない。**
 - ② **自身が制作したアプリ等の成果物や作品は持ち込んでも良い。しかし、その説明をするにあたって、学校の電源及び電子黒板等を使用することはできない。**
- ※ **成果物や作品の説明に要する時間も発表時間に含まれる。**

